Interim Business Report

第80期 中間報告書 2015.4.1—2015.9.30

世界を彩る、日本ピグメント

暮らしに色があるかぎり、
わたしたちは、提供しつづけます。

Pigment 日本ピグメント株式会社

証券コード：4119

経営理念

私ども日本ピグメントは、次の4つの理念を使命として、色彩関連製品を提供するとともに、人と自然環境の融合を理念においた製品作りを目指しております。

経営理念

1. **色彩を通じて、ゆとりのある生活をみなさまに提供し、社会の繁栄に寄与します。**
2. **グローバリゼーションの中で、地域社会との調和と共生を目指します。**
3. **技術革新・サービス向上に努め、お客様のニーズに合った環境に配慮した高品質の製品作りを目指します。**
4. **個性溢れる人材を育成し、創造性豊かで活力のある企業集団を目指します。**

株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社グループは、企業価値向上に向けて今後とも全力を尽くしてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

取締役社長 **加藤 龍巳**

Q 第80期上期の業績と経営環境について教えてください。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策等を背景に企業業績の改善や設備投資の増加がみられたものの、個人消費においては円安による物価上昇等により消費者マインドの低迷もあるほか、中国経済減速の影響もあり、回復の足取りは重い状況となりました。

このようななか当社グループにおいては、国内での販売は、一部の自動車産業向けは概ね予想通りに推移しましたが、家電産業向けにおいては大幅に想定を下回ることとなりました。また、東南アジア地区は域内全体で景気減速が広がり、各拠点で受注が伸び悩みました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は20,807百万円（前期比0.3％減）、経常損失は39百万円（前期経常利益101百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は62百万円（前期親会社株主に帰属する四半期純利益81百万円）となりました。

Q 下期の見通しを教えてください。

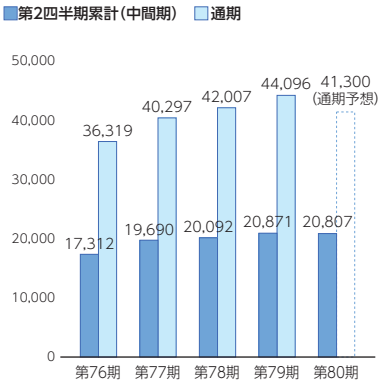
国内の景気回復の足取りは引き続き重いことに加え、国内外で中国経済減速の影響も懸念され不透明な状況が続くと予想されます。当社グループにおいては、業績向上にむけ技術力の強化、高付加価値品の拡販、海外需要の捕捉、生産効率の向上など合理化の推進に取り組み、業績予想を達成できるよう努めて参ります。

連結財務諸表

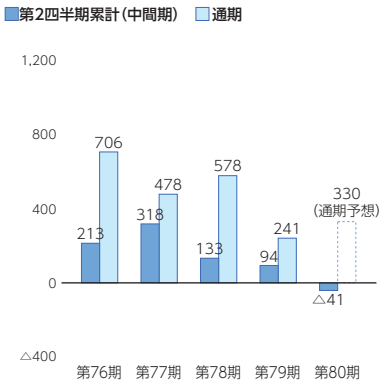
●財務ハイライト

国内では自動車産業向けは概ね予想通りでしたが、家電産業向けの樹脂用着色剤は需要回復の遅れから想定を下回り、海外においては東南アジア域内全体で景気減速の広がりから各拠点の受注が伸び悩み、全体として低調な結果となりました。

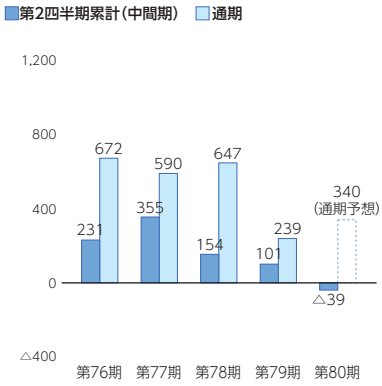
売上高(百万円)



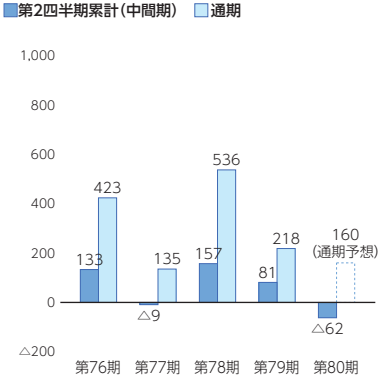
営業利益(百万円)



経常利益(百万円)

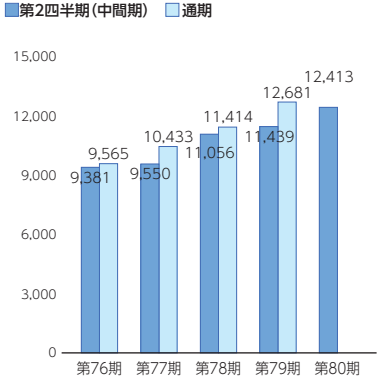


親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



総資産(百万円)

純資産(百万円)



●四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	科　目	当第2四半期末 2015年9月30日現在	前期末 2015年3月31日現在
	資産の部		
1	流動資産	14,313	13,437
2	固定資産	13,658	13,847
	有形固定資産	8,362	8,555
	無形固定資産	45	46
	投資その他の資産	5,249	5,246
	資産合計	27,971	27,285
	負債の部		
3	流動負債	11,332	10,821
4	固定負債	4,224	3,781
	負債合計	15,557	14,603
	純資産の部		
	株主資本	10,429	10,617
	資本金	1,481	1,481
	資本剰余金	1,047	1,047
	利益剰余金	7,916	8,104
	自己株式	△15	△15
	その他の包括利益累計額	1,051	1,133
	非支配株主持分	932	931
5	純資産合計	12,413	12,681
	負債純資産合計	27,971	27,285

Point.1　流動資産について

流動資産は14,313百万円と前期末の13,437百万円に比べ875百万円の増加となりました。この主な要因は現金及び預金が817百万円増加したことなどによるものです。

Point.2　固定資産について

固定資産は13,658百万円と前期末の13,847百万円に比べ189百万円の減少となりました。この主な要因は有形固定資産が192百万円減少したことなどによるものです。

Point.3　流動負債について

流動負債は11,332百万円と前期末の10,821百万円に比べ510百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が267百万円、短期借入金が348百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

Point.4　固定負債について

固定負債は4,224百万円と前期末の3,781百万円に比べ443百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金が418百万円増加したことなどによるものです。

Point.5　純資産について

純資産合計は12,413百万円と前期末の12,681百万円に比べ268百万円の減少となりました。この主な要因は利益剰余金が187百万円、為替換算調整勘定が131百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

連結財務諸表

●四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期累計 自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日	前第2四半期累計 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日
売上高	20,807	20,871
売上原価	19,346	19,340
売上総利益	1,461	1,531
販売費及び一般管理費	1,503	1,437
営業利益又は営業損失（△）	△41	94
営業外収益	85	99
営業外費用	83	92
経常利益又は経常損失（△）	△39	101
特別利益	0	63
特別損失	0	16
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△39	148
法人税、住民税及び事業税	22	47
法人税等調整額	△6	13
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△55	87
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	6
6 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△62	81

Point.6　親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失について

当第2四半期累計期間において親会社株主に帰属する四半期純損失は国内においては樹脂用着色剤の需要回復の遅れ、海外においては東南アジア域内全体での景気減速の影響により受注が伸び悩み、62百万円となりました。

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期累計 自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日	前第2四半期累計 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日
7 営業活動によるキャッシュ・フロー	294	662
8 投資活動によるキャッシュ・フロー	△103	△1,188
9 財務活動によるキャッシュ・フロー	625	546
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△31
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	817	△10
現金及び現金同等物の期首残高	2,081	2,077
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	–	–
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,899	2,066

Point.7　営業活動によるキャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の収入は前年同四半期連結累計期間と比べ368百万円減少し、294百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益の減少等によるものです。

Point.8　投資活動によるキャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の支出は前年同四半期連結累計期間と比べ1,085百万円減少し、103百万円となりました。

Point.9　財務活動によるキャッシュ・フローについて

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の収入は前年同四半期連結累計期間と比べ79百万円増加し、625百万円となりました。これは、主に金融機関からの借入の増加によるものです。

セグメント別概況

日本

日本は円安が継続し、輸出関連企業を中心に企業収益の回復傾向がみられるものの、中国経済の減速や個人消費の回復の遅れ等を背景に厳しい状況となりました。

部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチックを中心に比較的堅調に推移しました。樹脂用着色剤部門は、国内需要が伸び悩むなか、一部の自動車産業向けやトイレタリー関連が比較的堅調に推移したものの、家電産業向け等においての回復が想定には至らなかったことから、全体としては低調な結果となっております。最後に加工カラー部門は、一部の自動車産業向けや建材産業向けは比較的堅調に推移しましたが、全体としては想定までには至りませんでした。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,538百万円（前期比3.4％減）、営業損失は104百万円（前期営業損失41百万円）となりました。

東南アジア

東南アジアは、中国経済減速の影響等で域内全体に景気減速が広がり、各拠点で受注が伸び悩んだものの、当第2四半期連結累計期間の売上高は円安の影響もあって8,740百万円（前期比4.6％増）となりましたが、営業利益は77百万円（前期比41.8％減）となりました。

その他

その他は、中国経済減速の影響から日系自動車関連の受注が伸び悩み、当第2四半期連結累計期間の売上高が529百万円（前期比6.8％減）、営業損失は15百万円（前期営業利益2百万円）となりました。

日本ピグメントの事業内容

みなさまに日本ピグメントをよりよく知っていただくため、当社の事業内容をご紹介します。

〔日本ピグメントの事業領域〕

私たち日本ピグメントは“色”の専業メーカーとして、主にプラスチックの着色分野で事業を展開しています。
大別すると、主にプラスチックの着色剤として提供する「樹脂用着色剤」、「加工カラー」、着色剤や添加剤を独自の配合で多機能なプラスチック材料を提供する「樹脂コンパウンド」があります。

vol.1 樹脂コンパウンド

プラスチックは家電、ＯＡ機器、自動車内外装部品、工業部品、包装材、容器、日用品にいたるまで、あらゆる分野で使用されています。
このような多種多様な機能が要求されるプラスチック材料は、当社で最終製品メーカーのご要望に合わせたカラーマッチングを行い、またプラスチックを改質するための添加剤を配合することで最終製品に求められる機能を持った「樹脂コンパウンド」となります。コンパウンドは、プラスチックに着色剤や添加剤を分散させたペレット状（粒状）の製品で、着色剤や添加剤が最終製品の濃度に設計されているため、各種成形方法により、そのまま使用することができます。

＜形状＞

ペレット

① 汎用性コンパウンド

樹脂に染料や顔料を分散させたものです。

② 複合コンパウンド

樹脂に各種添加剤（フィラー、繊維など）を分散させ樹脂の特性を強化させたものです。
ガラス繊維、炭素繊維、無機フィラー等を分散させた強化コンパウンドや難燃材料を分散させた難燃コンパウンド等があります。

主な用途

建築材料

家庭用品

家電製品

OA機器製品

自動車関連部品

農業資材

日本ピグメントのテクノロジー

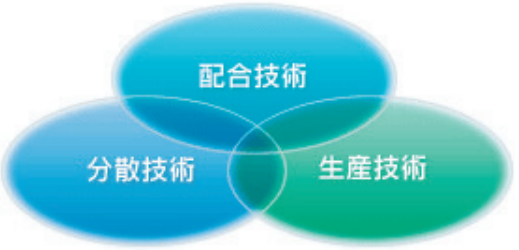
分散技術

～当社のコアテクノロジー、さらなる高分散技術の追求へ～

当社では、コアテクノロジーである長年蓄積してきた高度な分散技術を応用し、自動車、情報家電をはじめ、高機能性フィルム等の分野でも幅広く研究開発を行っています。また、この技術を基にしたマスターバッチ、ビーズカラーなどの製品をあらゆる分野に提供しています。

特に微細化が要求されるカラーフィルター用、インクジェット用などの液体分散体分野では、粒子をナノレベルまで微細化・分散させる等、高度な技術を駆使し、さまざまな液体分散体を提供するなど、先端分野にも貢献しています。

常に新たな市場ニーズに対応し、さらなる高分散技術を追求していきます。



会社の概要（2015年9月30日現在）

●概要

●会社名 日本ピグメント株式会社
(Nippon Pigment Company Limited)

●本社所在地 東京都千代田区神田錦町三丁目20番地

●代表者 取締役社長 加藤 龍巳

●創業 1925年(大正14年)

●事業内容
樹脂コンパウンド…. プラスチック成形用材料
樹脂用着色剤…… プラスチック着色剤
加工カラー…… 塩化ビニール着色剤等
ピグメントカラー…. 塗料用､印刷インキ用等

●資本金 14億8,115万円

●株式 東京証券取引所市場第二部上場

●国内拠点・海外拠点

●本社･営業部門
･本社･東京支店
･大阪支店
･名古屋支店

●生産部門
･埼玉川本工場(埼玉県)
･大阪工場(大阪府)
･東京ピグメント㈱(埼玉県)
･ニッピ化成㈱(埼玉県)
･名古屋ピグメント㈱(愛知県)
･大阪ピグメント㈱(奈良県)

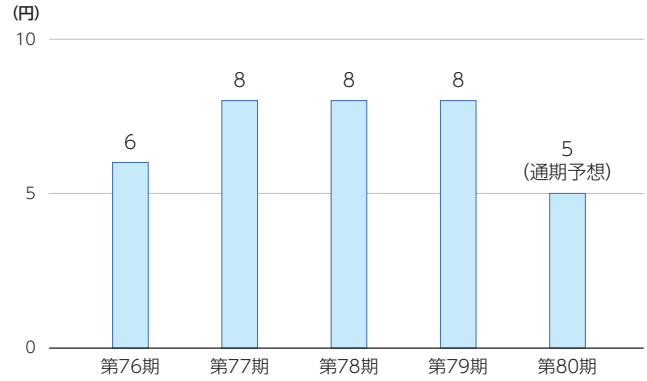
●海外
・Nippon Pigment (S) Pte. Ltd.（シンガポール）
・Nippon Pigment (M) Sdn. Bhd.（マレーシア）
[Head Office and Shah Alam Plant]
[Penang Plant]
・P.T.Nippisun Indonesia（インドネシア）
・天津碧美特工程塑料有限公司（中国）
・NPK Co.,Ltd.（韓国／持分法適用関連会社）
・上海新素材特種聚合物有限公司（中国／持分法適用関連会社）

株式の概要（2015年9月30日現在）

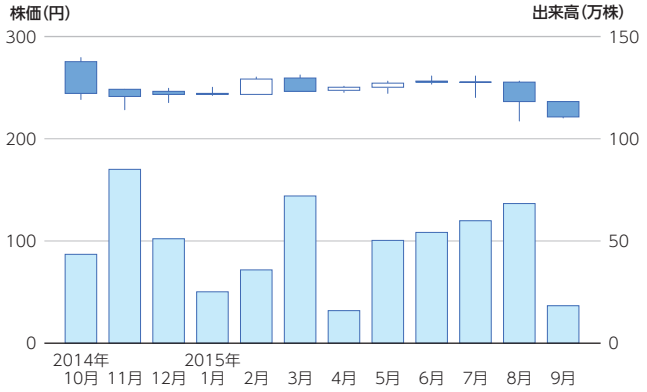
●株式の状況

●発行可能株式総数	30,000,000株
●発行済株式総数	15,758,994株 （うち自己株式53,084株）
●株主数	2,017名

●配当金の推移



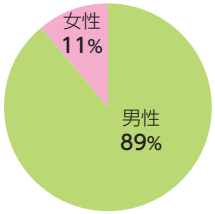
●株価チャート（月足）



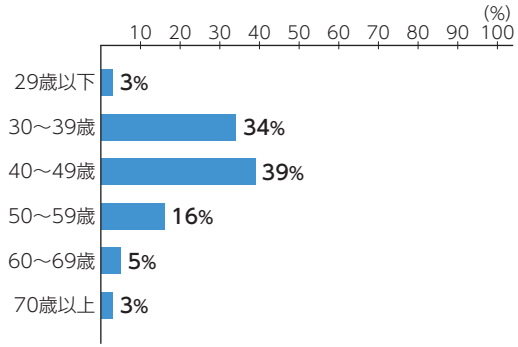
株主アンケート結果

当社では、第79期報告書送付の際に、株主様向けアンケートを実施いたしました。アンケートの結果について抜粋してご報告いたします。

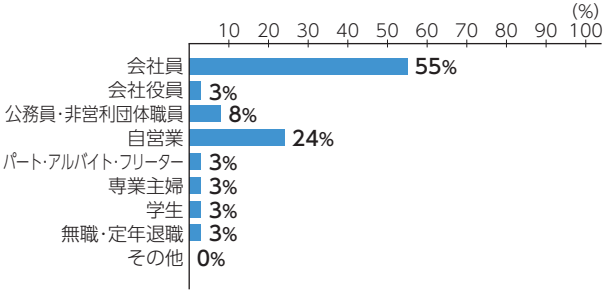
●あなたの性別をお知らせください。



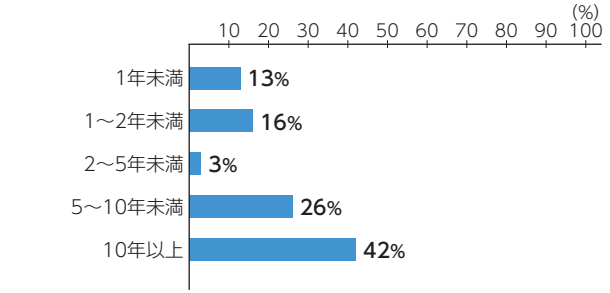
●あなたの年齢をお知らせください。



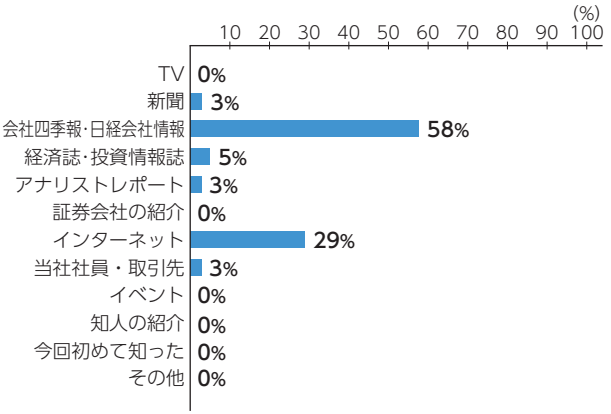
●あなたのご職業をお知らせください。



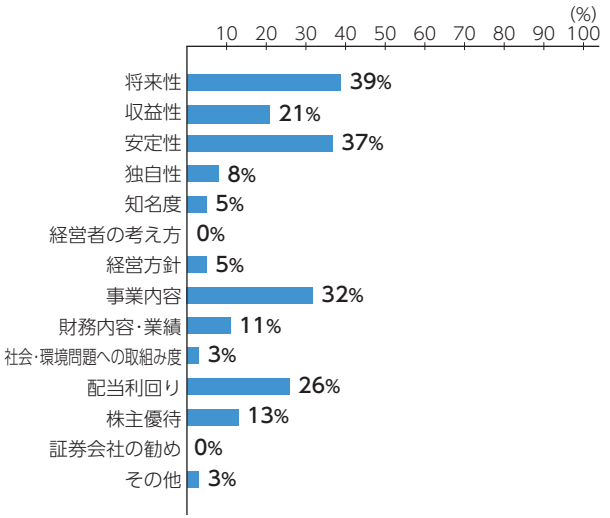
●あなたは株式投資を始めて、どのくらいになりますか。



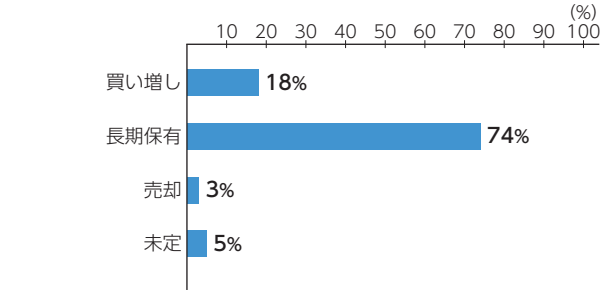
●あなたは当社をどこでお知りになりましたか。



●あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。



●あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。



このたびは、アンケートにご回答いただきまして、ありがとうございました。あらためて御礼申し上げます。

今回いただきましたご回答を、今後の参考にさせていただきます。

株主メモ

●上場証券取引所　東京証券取引所 市場第二部
●証 券 コ ー ド　4119
●単 元 株 式 数　1,000株
●事　業　年　度　4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会　6月中
●基　　準　　日　定時株主総会　3月31日
　期末配当金　3月31日
●株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
　三菱UFJ信託銀行株式会社
●同　連　絡　先　三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
　〒137-8081
　東京都江東区東砂七丁目10番11号
　TEL 0120-232-711（通話料無料）
●単元未満株式買取手数料および買増手数料
　無料
●公告掲載方法　電子公告といたします。
　当社ホームページアドレス
　http://www.pigment.co.jp/
　（ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。）

【株式に関するお手続きについて】

○証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き・お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ご照会の内容	○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定　等
留意事項	未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

○特別口座に記録された株式をご所有の株主様

お手続き・お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
手続用紙のご請求方法	音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479（通話料無料） インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
お手続き・ご照会の内容	○特別口座から一般口座への振替請求 ○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定（*） ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会　等
特別口座での留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。 売却するには、証券会社等に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

（*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

株主のみなさまの声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 4119
いいかぶ　検索

空メールにより URL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）　MAIL:info@e-kabunushi.com

Pigment 日本ピグメント株式会社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町三丁目20番地
TEL 03-6362-8801 FAX 03-6362-8808
http://www.pigment.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
この報告書は、環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しております。
UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。